



「バイオリン演奏を通して、心に響く道徳授業を」

～主体的・対話的で深い学びの視点から体感する授業～



道徳 言語 コミュニケーション 音楽 キャリア 総合

(1) ねらい



- ① 仲間との話し合いや、みんなの前で発表することにより、表現力を高め、自分の考え方や感じ方、意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見や立場を尊重する力を育てる。
- ② 他国の作曲者や文化について理解し、国際的視野に立つことで、日本人としての自覚を持ち、さらに、世界の平和や人類の発展を考える心を育む。
- ③ バイオリンの音色を通して音楽を味わうことで、自分の弱さや醜さを克服する強さ・気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見いだす。

(2) 対象

- ・小学1年生～中学生、大人
「道徳授業地区公開講座」等で、保護者
地域の方と一緒に学習にも有効です



(3) 講師

久米 晶子 氏

現役バイオリニスト、現役バイオリン講師

(4) 形式

- ・所要時間 1～2単位時間（土曜授業可）
- ・クラスまたは学年単位で教室・集会室等

(5) 内容

- ① 作曲者の、苦悩していた時と幸せだった時の曲を対比する。
- ② 作曲された時の時代背景を知る。文化がどのように音楽に反映しているのかを知る。
- ③ 演奏を聞き、感じたこと・気づいたこと・面白かったことを言語化し発表する。
聞く・書く・読む・話す⇒相互のコミュニケーション⇒様々な感じ方・考え方を受ける⇒ふりかえる
- ④ 3拍子・・・様々な踊りの曲を知る。メヌエット・ワルツなど。
- ⑤ バイオリニストである講師が、演奏の仕事で何を意識して演奏しているのかを知る。
- ⑥ 児童・生徒とヴァイオリンで合唱する。

※児童生徒との合奏を希望される場合には、3週間前までに一緒に
合奏する曲の楽譜を送ってください。



(6) 費用

「交通費実費」「講師謝礼10,000円」については応相談
事後に参加者からの感想文をお送り願いします。

(7) 申込み

実施日1ヶ月位前まで ⇒ホームページトップページ「申し込みフォーム」から
講師の方には、当本部から連絡をとさせていただきます。
進行や内容等の詳細は、講師の方と学校担当者で打ち合わせてください。